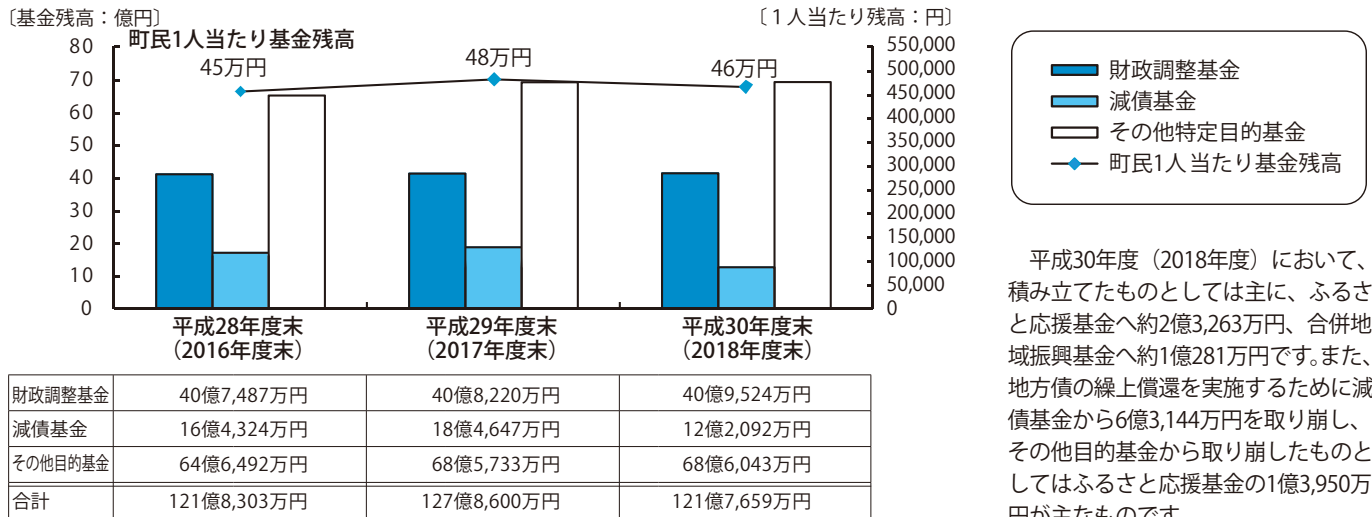


平成30年度(2018年度) 各会計の決算状況

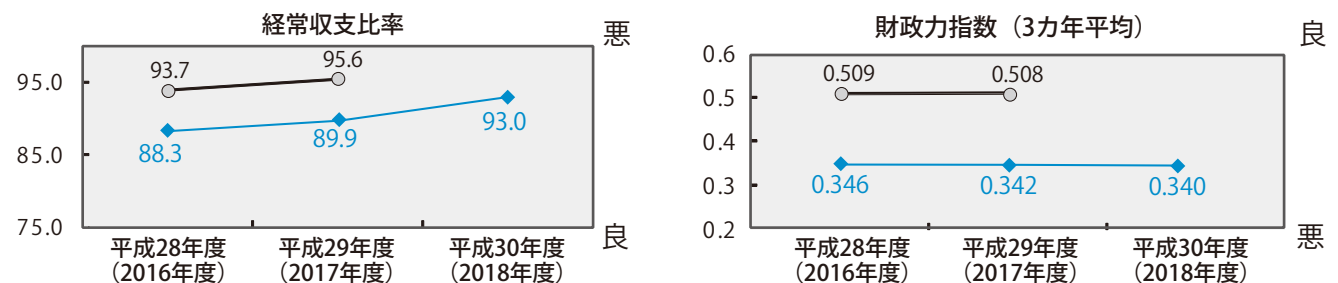
※税込み

水 道 事 業 会 計	収入済額	支出済額	差し引き	平成30年度末(2018年度末) 地方債残高
1. 収益的収支	4 億 8,347万円	3 億 6,901万円	1 億 1,446万円	5 億 4,990万円
2. 資本的収支	2 億 1,585万円	4 億 3,466万円	▲ 1 億 1,881万円	

基金残高の状況



主な財政指標



●経常収支比率について

当比率は、人件費・扶助費・公債費などの経常的な経費に充当された一般財源の額が、地方税や普通交付税などの一般財源の合計に占める割合を表し、比率が低いほど財政構造に余裕があると言われています。

平成30年度(2018年度)の比率については、前年度に比べ3.1ポイント増加しました。

※ 各指標に係る、平成30年度(2018年度)の県下市町村平均値は公表されておりません。

●財政力指数について

地方交付税にどれだけ頼らずに財政運営をしているかを表し、指数が1.0に近いほど財源に余裕があると言われています。

平成30年度(2018年度)の指数は0.340となっており、一般財源の多くを地方交付税などで賄っている状況です。

● 有田川町 ● 県下市町村平均

用語解説

水道事業／上水道事業は「企業会計」です。収益的収支とは、水道料金を主な財源とし、施設の維持管理や借入金利息返済などを行います。資本的収支とは、借入金などを主な財源とし、施設の建設や借入金元金返済などを行います。

基金／特定の目的のために、維持あるいは積み立てられる資金または財

産。財政調整基金は、地方公共団体における年度間の財源の不均衡を調整するために設けられる基金のことで、減債基金は、地方債の償還(返済)を年度を越えて計画的に行うために設けられる基金のことです。

一時借入金／一時的な現金の不足を補うために借り入れる資金。